宇陀市立病院から

（☎82-0381） http://www.udacity-hp.jp

■外科の新しい先生を紹介します

○**中辻　直之**（なかつじ　なおゆき）外科部長

資格：日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、消化器がん外科治療認定医、マンモグラフィ読影認定医　他

一言：胃腸、肝臓、膵臓、胆のう、痔、ヘルニア、乳腺等の病気の治療を行う外科医になって今年で29年目です。医療人を志した時の初心を忘れず、患者様の立場に立った誠実な医療を行っていきたいと思っています。

※外来診察は毎週木曜日です

○**八倉　一晃**（やぐら　かずあき）外科部長

資格：日本外科学会専門医、マンモグラフィ読影認定医　他

一言：外科医師として、地域の皆様に満足していただける医療を提供できるようがんばりたいと思います。

※外来診察は毎週金曜日です

■2月の土曜日の開院日のご案内

7日、21日を平常診察（※耳鼻いんこう科、皮膚科は休診）します。また7日の泌尿器科は休診となります。

■看護師（正職員・パート）募集

募集人員　若干名

申し込み　履歴書、資格証明書の写しを提出

問市立病院庶務課

■整形外科の新しい先生を紹介します

○**水振　貴満**（もんどり　たかみつ）整形外科医長

資格：日本整形外科学会専門医、日本整形外科スポーツ認定医　他

一言：本年１月より赴任することになりました。スポーツ障害を含めた肩、肘関節外科を専門としています。スポーツをされる若年者に限らず中高年齢の方でも、肩、肘痛に悩まされておられる方はいつでも相談に来てください。

※外来診察（予約外）は毎週月曜日です

■糖尿病教室のご案内

40歳以上の方の10人に1人がかかっていると言われる糖尿病について、当院の専門スタッフが分かりやすくご説明いたします。糖尿病と診断された方、糖尿病についてもっと知りたい方、ご家族の方、どなたでも無料でご参加いただけます。一緒に学習をして、正しい自己管理を身につけましょう。

内容 **第2木曜**「糖尿病及び運動療法について」
第3木曜「食事療法について」
第4木曜「合併症について」「日常の注意点」

2月は12日・19日・26日に行います。

時間　午後2時～3時　**場所**　東館2階232号室

■人事異動（平成20年12月31日付退職）

瀧　順一郎（外科部長）、藤本　平祐（外科部長）、奥本　洋樹（整形外科医師）

主治医からインスリンの自己注射を勧められたら

糖尿病の治療などでよく耳にするインスリン。実際にインスリンの自己注射で治療されている方も多いと思います。今回は**内科医長の丸山直樹先生**にインスリン治療についてお話を伺いました。

皆様はインスリンという言葉を聞かれたことがあると思います。中には思い込みや誤解でインスリン治療を敬遠している方もいらっしゃるかもしれません。インスリンは最終的な治療法であり、インスリンが必要となったら、かなり病状が悪化したのかも…と心配されることでしょう。

最近では、2型糖尿病（一般の人がお年をとってなる糖尿病です）に対する飲み薬として様々な作用、効果を持つ薬が開発されています。しかし、食事療法や運動療法をいくらがんばっても、またどんなに内服薬を変更したり増量したりしても、血糖のコントロールが良くならない場合があります。この場合には、インスリン療法を勧めます。

中には、糖尿病の初期の段階から、インスリンの自己注射を勧めることがあります。また合併症のある患者さん、特に腎機能が悪化してきた患者さんでは、インスリンを積極的に使用することが望ましいです。

インスリンはもともと体にある成分（ホルモン）であり、インスリン治療は糖尿病患者さんの不足しているインスリンを補う確実な方法です。そのため、副作用も少なく、生理機能に合う、最も適した治療法です。残念ながらインスリンを口から飲んでも、効きません。**現在のところ、注射製剤が最も効率的にインスリンを体内に取り入れる方法です。**

最近ではインスリン製剤の種類が豊富になり、患者さんの病状に合わせて、きめ細やかにインスリン製剤を選ぶことができます。インスリンを使えば、同じ努力でより良い血糖コントロールをすることが可能になります。

当院でも、入院してのインスリンの治療ができない患者さんのために、外来でのインスリン自己注射指導を始めております。分からないことや糖尿病のことはお気軽にお尋ねください。

★内科医長 丸山先生の診察は金曜日です。